

進捗
NOW!!

県政と市政

砂川堀の治水対策

—昨年の台風9号で砂川堀が越水し、山室地区などで大きな被害が生じました。その治水対策についての進捗状況です。砂川堀の治水工事は次の手順で進められます。

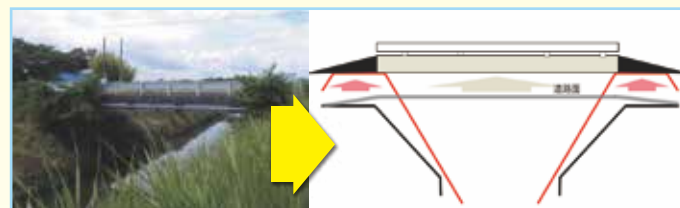
砂川堀の治水対策（今年11月着工予定）

砂川堀1号橋から新河岸川までの区間、蛇島2号橋から勝瀬橋、花影橋を経て勝瀬小学校までの区間、堤防をかさ上げします。



橋のかさ上げ工事（今年11月着工予定）

堤防のかさ上げに合わせ、砂川堀第1号橋をかさ上げします。工事期間中、砂川堀第1号橋は通行止めとなります。



新河岸川合流地点の改修 （堤防と橋のかさ上げ完了後）



旧・県立富士見「青年の家」

旧・県立富士見「青年の家」は、取り壊しが完了し、その後の活用について、富士見市がプランを策定中です。現時点のイメージ図が市のホームページに掲載されています。



●今後のスケジュール（想定）

	富士見市	埼玉県
2018年度	基本設計	管理運営手法等の検討
2019年度	実施設計	整備工事
2020年度	整備工事	



勇気をもって前へ！

Prefectural government report of Masaru Kaneko.

【発行】かねこ勝県政事務所 TEL&FAX 049(255)2527
〒354-0034 埼玉県富士見市上沢1-17-30 masaru.ih@tbc.t-com.ne.jp



埼玉県議会ホームページ
http://www.pref.saitama.lg.jp/s-gikai/index.html



県政報告
vol.3

埼玉県議会議員

かねこ勝

県政を身近に！

討議資料

発行：埼玉県議会自由民主党議員団 かねこ勝県政事務所

県政報告トピック

- 平成30年度埼玉県一般会計当初予算の概要
- 平成30年度、県が富士見市で行う事業
- 砂川堀の治水対策と旧・県立富士見「青年の家」のその後



市民の皆様、いつも変わらぬご支援、有難うございます。

去る3月27日、埼玉県議会の2月定例議会が閉会となり、平成30年度の埼玉県一般会計当初予算などが決まりました。私も予算特別委員会の委員に選出をいただき、審議に加わることが出来ました。

今回の県政報告では、平成30年度予算の概要とその内、富士見市にかかわる事業を中心にご報告申し上げ、併せて、砂川堀の治水対策の進捗状況などについてご報告いたします。

なお、平成30年度、議会の委員会活動につきまして私は、総務県民生活常任委員会と経済・雇用対策特別委員会に所属することになりましたが、常任委員会では、当選一期の議員ながら副委員長の重責を担わせていただくこととなりました。

私、かねこ勝は、これからも富士見市と県のパイプ役として、引き続き全力を尽くして参ります。何なりと、皆様の声をお寄せ願います。

金子勝

【かねこ勝プロフィール】

昭和35年埼玉県で生まれる
鶴瀬小学校、富士見台中学校、県立川越高校卒業。
昭和54年明治大学政経学部経済学科に入学、卒業。
近代経済学を学び、ゼミでは比較政治学を研究。
サークルは雄弁部に所属。大学3年時、東京大学総長杯争奪
全国学生弁論大会で優勝、学生チャンピオンに。
昭和58年4月みずほ銀行(旧・第一勧業銀行)に入行。
上野・銀座支店などの営業店ならびに本店の審査、企画部門
などに約20年間勤務。また、この間、伊藤忠商事(2年間)への
出向も経験。
平成17年3月埼玉県議会議員に当選(3期)。
平成28年7月埼玉県議会議員当選。

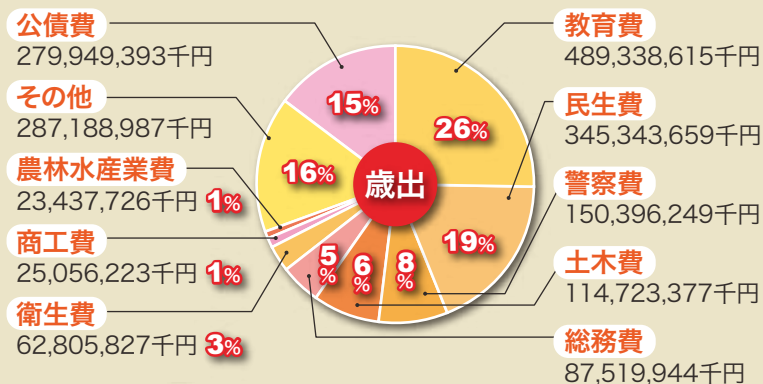
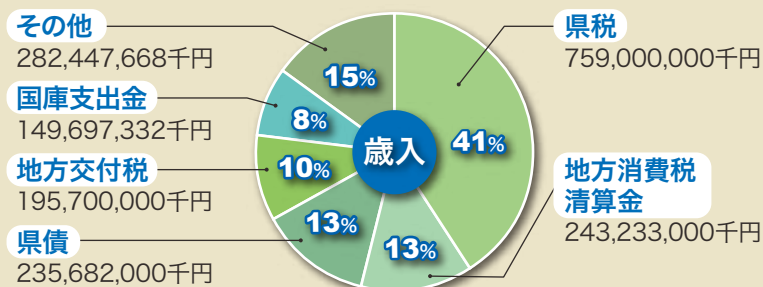
富士見市と県を
つなぐ情報をあなたへ！



駅で「まさる便」
配付中！

平成30年度 埼玉県 一般会計当初予算の概要

一般会計 1兆 8,657億 6,000万円



スマート社会へのシフト

- 新たな技術による生産性向上
- 県庁のスマート化

未来への投資予算

チャンスあふれる埼玉

- 結婚・出産・子育ての希望実現
- 貧困の連鎖解消
- シニアの活躍拡大

魅力発信埼玉

- オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化
- 経済の活力向上
- 安心・安全の確保



まさるの眼 今年度予算の注目点は…

★超スマート社会到来への投資

- 商・工・農・医療、あらゆる分野にAI（人工知能）を活用し、生産性や効率性を向上させる予算が組まれました。
 - 鶴ヶ島市の県立農業大学校跡地（約39.2ヘクタール）を先端・次世代産業の集積拠点として活用するため、造成工事等に100億円の予算を計上しました。
- 【超スマート社会とは】必要なもの、サービスが必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供され、様々なニーズにきめ細かく対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、生き活きと快適に生活できる社会。AIやIOT（もののインターネット：すべてのものがインターネットに接続される）などの先端・次世代産業がこの社会の実現を牽引します。



平成30年度 県が富士見市で行う事業

砂川堀の治水事業

砂川堀の堤防のかさ上げと、新河岸川の合流地点の改修。
（進捗NOW! 参照）



治水工事が動き出します。大規模な工事であることと事故防止の観点から台風シーズンは工事を控えるため、2年がかりの工事となります。



県道川越新座線

道路（約1km）の修繕



びん沼川の水辺美化

隣接する旧・県立富士見「青年の家」跡地の活用については、市がプランを策定中。
（進捗NOW! 参照）



国道254号バイパスと県道

立体交差高架橋の補修、耐震化。今年度は設計、来年度の工事着工を目指します。



県道ふじみ野朝霞線

鶴瀬小交差点

子どもたちの信号待ちスペースを確保



鶴瀬交差点

交差点拡幅のための測量設計



かねてよりご要望があった交差点の改良が前進します。子ども達も安心。地権者の方々のご理解とご協力のたまものです。

柳瀬川の治水対策

柳瀬川の氾濫防止のため、約4ヘクタールの調節池を作ります。今年度は調節池の場所の選定、設計及び測量を行い、来年以降の造成を目指します。



長い間の地域要望が解決へ向かいます。治水により、当エリアの土地活用の可能性も広がると期待します。また、調節池周辺には遊歩道などを整備することも検討して参ります。

国道254号バイパスと国道463号

立体交差の橋脚工事が今年度完了し、和光までの早期開通を目指します。



※道路の形状等については現段階のイメージ。



橋脚の上に橋を架け、和光市までの開通が早期に実現するよう今後も県及び関係する自治体と力を合わせて参ります。